

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 11 日(2024.11.11)

【公開番号】特開 2023-122044(P2023-122044A)
【公開日】令和 5 年 9 月 1 日(2023.9.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-165
【出願番号】特願 2022-25465(P2022-25465)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 10 月 31 日(2024.10.31)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、
前記所定演出は、第 1 所定演出と、第 2 所定演出と、を含み、
前記第 1 所定演出は、第 1 割れ前兆画像を表示する第 1 所定パートと、該第 1 割れ前兆
画像に対応した破片画像を複数表示する第 2 所定パートと、を含む演出であり、
前記第 2 所定演出は、第 2 割れ前兆画像を表示する第 3 所定パートと、該第 2 割れ前兆
画像に対応した破片画像を複数表示する第 4 所定パートと、を含む演出であり、
前記第 1 所定演出と前記第 2 所定演出とで、実行期間は重複せず、
前記第 1 所定パートと前記第 3 所定パートとで、実行期間の長さが異なり、
前記第 2 所定パートにおける破片画像と前記第 4 所定パートにおける破片画像とは、少
なくとも所定方向と特定方向との複数方向に向かって移動する態様で表示され、
前記特定方向に向かって移動表示する破片画像の方が、前記所定方向に向かって移動表
示する破片画像よりも前記表示手段の表示領域において非表示となるまでに要する期間が
長く、
前記第 4 所定パートにおいて前記特定方向に向かって移動表示する破片画像の方が、前
記第 2 所定パートにおいて前記特定方向に移動表示する破片画像よりも前記表示手段の表
示領域において非表示となるまでに要する期間が長く、
第 1 遊技状態で前記第 1 所定演出を実行可能であり、第 1 遊技状態よりも有利な第 2 遊技
状態では前記第 1 所定演出を実行しない
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

(α) 可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、

50

前記所定演出は、第 1 所定演出と、第 2 所定演出と、を含み、
前記第 1 所定演出は、第 1 割れ前兆画像を表示する第 1 所定パートと、該第 1 割れ前兆画像に対応した破片画像を複数表示する第 2 所定パートと、を含む演出であり、
前記第 2 所定演出は、第 2 割れ前兆画像を表示する第 3 所定パートと、該第 2 割れ前兆画像に対応した破片画像を複数表示する第 4 所定パートと、を含む演出であり、
前記第 1 所定演出と前記第 2 所定演出とで、実行期間は重複せず、
前記第 1 所定パートと前記第 3 所定パートとで、実行期間の長さが異なり、
前記第 2 所定パートにおける破片画像と前記第 4 所定パートにおける破片画像とは、少なくとも所定方向と特定方向との複数方向に向かって移動する態様で表示され、
前記特定方向に向かって移動表示する破片画像の方が、前記所定方向に向かって移動表示する破片画像よりも前記表示手段の表示領域において非表示となるまでに要する期間が長く、
前記第 4 所定パートにおいて前記特定方向に向かって移動表示する破片画像の方が、前記第 2 所定パートにおいて前記特定方向に移動表示する破片画像よりも前記表示手段の表示領域において非表示となるまでに要する期間が長く、
第 1 遊技状態で前記第 1 所定演出を実行可能であり、第 1 遊技状態よりも有利な第 2 遊技状態では前記第 1 所定演出を実行しない
こと特徴としている。

10

20

30

40

50